

久喜市立のぞみ園 事業報告

平成31年度（令和元年度）事業計画に基づいて以下の事業を行いました。

1 実施事業

(1) 定員と現員

令和2年3月31日現在

事業名	定員	現員
児童発達支援	定員10名	11名（男児5名、女児6名）

< 入退園等 >

入園 1名（4月1日 女児 1名）

卒園 3名（男児 1名、女児 2名）、1名（女児 就学猶予のためR2年度も在園）

< 併用の状況 >

5名 幼稚園・保育園との併用

（久喜市立中央幼稚園、栗橋さくら幼稚園、久喜市立中央保育園分園）

(2) 利用者の状況

ア 年齢構成

区分	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	平均
男	0	0	1	1	2	1	4.6歳
女	0	0	2	1	0	3	4.6歳
計	0	0	3	2	2	4	4.6歳

イ 障害者手帳の所持状況

区分	療育				身体	なし	計
	㊤	A	B	C	1級		
男	0	1	1	1	0	2	5
女	0	0	1	3	1	1	6
計	0	1	2	4	1	3	11

ウ 利用率の状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開園日数	20	20	20	22	21	20	21	20	20	19	18	21	242
延利用人数	137	136	135	156	117	134	125	132	127	116	109	106	1,530
利用率%	68.5	68.0	67.5	70.9	55.7	67.0	59.5	66.0	63.5	61.0	61.0	50.5	63.2

(3) 職員体制

職種	配置人数	備考
園長	1	児童発達支援管理責任者兼務
保育士	4	
支援員	1	
計	6	

2 重点実施事項

(1) 利用率の向上

70%を目標としていましたが、年間63%と目標に到達しませんでした。幼稚園や保育園と併用している方が、利用を減らして少しずつ幼稚園へ移行を始めたことと、その空きの分の受け入れができなかったことが理由としてあげられます。今後も利用率を上げることを必須の課題として努力していきます。

(2) 働きやすい職場づくり

年次有給休暇の取得については、全員が年5日以上取得することができました。職場環境の見直し、業務の整理については少しずつ進めているところです。引き続き、職員が健康で、積極的に「働きたい」と思えるような職場づくりができるように努力していきます。

(3) 他の児童発達支援事業所のサービス内容の調査

市内の他の事業所のサービス内容（送迎の実施、活動内容、利用率、職員の人数等）について調査を行いました。送迎サービスについては実施していないところが多いこと、放課後等デイサービスの事業所も行い、縦の連携をとっていること、また、保護者の思いとして幼稚園や保育園に行かせたい、児童発達支援の事業所では家庭や幼稚園でできないところをやってもらいたいというニーズがあるため、専門性が今後も求められること等把握することができました。これらを参考にして、利用率の向上や、支援の面では職員の専門性の向上に努めていきたいと思えます。

3 事業報告

(1) 利用者支援

遠城寺式乳幼児分析的発達検査法や乳幼児精神発達診断法など、個々に合った発達検査を行い、発達状況を定期的に確認しました。次の目標や支援の仕方の参考とすることができました。

ST や PT、OT 等療育の専門指導者による指導を受け、指導者からのアドバイスを日々の支援に取り入れました。

ア 基本的な生活習慣の自立支援

食事、排泄、着替えなどの生活習慣や動作を「自分で行う」ことを目標に、少しずつ段階を踏みながら支援をしました。また、できたらシールを貼るなどできたら楽しい、できたことが励みになるように工夫して支援を行いました。スモールステップで支援を行いました。

イ 集団生活に適応する力を育てる

(ア)生活の中での決まりごと、ルールなどを写真や絵カードなど視覚を使って分かりやすく伝えるように工夫しました。特にその場所で必要な声の大きさを絵と数字で示したカードを使い、声の大きさを繰り返し伝えていきました。少しずつ子ども達が理解をした様子が見られました。

(イ)家族と一緒にいる行事や季節の行事、外出体験など様々な体験活動を行い、楽しく過ごす様子が見られました。

<行事>

4月	対面式	11月	人形劇鑑賞
5月	年長児外出体験	12月	年末お楽しみ会、もちつき
7月	プール開き、夏のお楽しみ会	2月	豆まき、おはなし会
8月	七夕	3月	卒園式、おわかれ会
9月	就学座談会、親子運動会	毎月	誕生会 (すみれ保育園と合同で実施)
10月	遠足		

ウ 活動内容

普段食べている給食に何の食材が入っているか子ども達に伝えたり、食事に興味を持ってもらうため、その日の給食のメニューと食材を写真で伝えました。食材を覚えたり、写真と言葉のマッチングができるようになるなど成長が見られました。

エ 家族支援

- (ア)保護者の方と送迎時や面談の時に情報交換や相談を行いました。子どもの発達や行動の悩みなどに対してアドバイスをしました。仕事の都合で送迎に來られない保護者（母親）の方には、手紙を書いたり写真で普段の様子を伝えるなどして、信頼関係の構築に努めました。
- (イ)就学支援を行いました。久喜特別支援学校の見学や、就学座談会を開き、就学についての意見交換や質疑応答を行いました。就学について、年長児だけでなく3、4歳児頃から早目に情報を欲しい、という意見が聞かれました。次年度以降の参考にしていきたいと思ひます。

(2) 働きやすい職場づくり

- ア 業務内容の見直しについては、業務の中で簡素化できるものは時間、手間のかからない方法を考えたりしました。マニュアルを今後作り、全職員にも把握をしてもらうように、今後すすめていきたいと思ひます。
- イ 年次有給休暇の取得については、業務に影響することなく、全職員が5日以上取得することができました。今後も、計画的に職員が有給休暇を取ることができるよう努めると共に、満足できる職場作りを目指していきます。

(3) 人材育成

ア 資質の向上

- (ア)外部研修へ参加することが難しく1回のみになってしまいましたが、専門的な内容の研修に参加でき、支援の参考になりました。次年度は年間の研修計画を作成し、計画性を持ちながら研修に参加できるように努めます。
- (イ)内部研修では、「アンガーマネジメント」について勉強をしました。普段の支援の中でどのような状況の時に怒りの気持ちが起きやすいか、どう対応したら気持ちを収めることができるか、などについて話し合いました。今後も、虐待防止、権利擁護の意識を常に持ちながら支援ができるように努めていきます。

イ 職員の研修

<外部研修>

研修名	主催	期日	参加人数
埼玉県障害児通園施設職員 実践交流セミナー (午前中) 講演会 「児童発達支援に関わる者たちに求められる理念と方向性」 (午後) セッション 「あそびと生活」「親支援」「個別支援計画」	埼玉県発達障害福祉協会 埼玉県障害児通園施設協議会	2月9日	3名

<内部研修>

研修名	期日	参加人数
人事考課者基礎研修	12月2日	1名
虐待防止内部研修「アンガーマネジメントについて」	2月20日	2名

(4) リスク管理

ア 地震、火災、水害、防犯などの避難訓練を毎月実施しました。火災の避難の時に手で口をふさいで避難したり、地震で机の下に避難した時に机の脚を持つなど、少しずつ自分で身を守る行動をとれる子どもの様子が見られるようになりました。

イ 隣接のすみれ保育園とも合同で避難訓練を行いました。

(5) 地域交流

ア すみれ保育園との交流会

すみれ保育園の年長児と、のぞみ園の交流会を毎月1回行いました。ボディペインティングや散歩、ゲームなどを楽しみました。園庭で遊んでいる時、お互いに意識しつつ関わったり、言葉を交わしたりする姿が見られました。

イ ボランティア・実習生の受入れ

普段関わりのない方や、男性が苦手など個々で対人面での苦手さは違いますが、定期的に接することによって少しずつ慣れていく様子が見られました。自分から「遊ぼう」と誘えるようになるなど、ボランティアさんや実習生が来るのを楽しみにすることもありました。

(6) 事業運営

ア 延長療育

登園前、降園後の時間で家庭の都合に応じて延長療育を行いました。特に兄妹のいる家庭の都合での利用が多くありました。年間で延べ42名が利用しました。

イ 歯科検診・ブラッシング指導

3名の方が受けました。全員初めて参加した方でした。歯科医師や歯科衛生士

との懇談会にて、普段疑問に思っていたことを聞いて良かった、と感想をいただきました。歯の健康や、歯磨き、口のすすぎ方などについて、日頃から子ども達に伝えていきたいと思えます。

(7) 保護者との信頼関係構築

ア 個人面談、アンケートの実施

(ア)年に3回、個人面談を実施しました。また、児童発達支援の事業所で義務付けられている「自己評価表」を保護者向けに配布し、意見や要望を把握しました。

(イ)面談やアンケートで受けた要望や意見には「親がいないところでどのように過ごしているのか見てみたい」「連絡帳や、送迎時に日中の様子を良く伝えてくれる」などの意見や感想が寄せられました。概ね満足しているという意見が多かったです。